

黒檜山山行報告

【山行日】2020年 2月 20(木) 晴れ
【集 合】岩舟支所 P AM 6:00
【費 用】マイカー1台 : 1,900円
【メンバー】CL:鈴木、SL:大西 齊藤、福島、
【コースタイム】岩舟支所 P6:00=おのこ P
8:00/8:20~黒檜山登山口 8:35/8:50~黒檜山
10:00/10:30~駒ヶ岳 11:10/11:50~おのこ P
12:40/13:00~あいのやまの湯 13:30/13:45=
岩舟支所 P15:10

今シーズンから雪山を始めた方達の為、天気
が良い日を選んで雪山トレーニング山行を計画した。

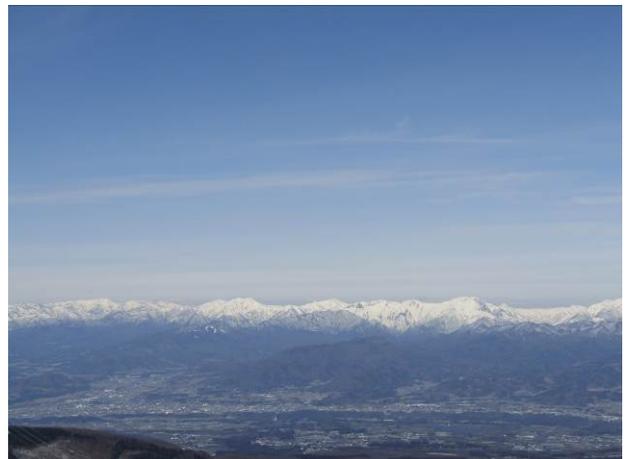
大沼湖畔のおのこ駐車場に車を止め、準備を整えトイレとストレッチを済ませて出発する。舗装道路を左に歩いて行くが、今年は雪が少なく道路にも雪はほとんど無く歩き易い。黒檜山登山口でアイゼンを付け、標識の所からいきなり急登が始まる。登り始めは雪が少なく、岩が露出した登山道はとても歩きにくい。なるべく雪の上を歩くように登り、尾根に出ると大沼や地藏岳の展望が得



られる。展望を楽しみながら登り、猫岩を巻いて登ると少し先に富士山の標識がある展望ポイントに着く。ここからは地藏岳の左に富士山が望め、富士山を見ながら休憩を取り衣服調整をする。風も無く穏やかな晴天に恵まれ、上衣を脱いでも汗がにじむ。1600mから上は雪も多くなり、岩の露出も無くアイゼンが効いて歩き易い。傾斜がきつくなると後ろが離れ、途中で待ちながら高度を上げて行く。急坂になれたころ前方に標識が見え、駒ヶ岳分岐のT字路に出る。日光連山や白根山、皇海山が望め、平坦な尾根をわずかに進むと三等三角点がある黒檜山頂に出る。山頂標識の前で記念写真を撮り、少し先の絶景ポイントまで行き大休止する。山頂から北側の尾根をほんの少し行くと、尾瀬の燧ヶ岳から上州武尊山、谷川連峰から苗場山、浅間山まで真白い山々が連なる絶景が見られる。今日は特に天気が良く、これだけ展望に恵まれるのはめったにないことだ。展望を楽しみながらおやつタイムにし、ブッセやリンゴをいただきながら至福の時間を過ごす。初めてのS藤さんは大感動で、「これほど素晴らしい景色が見られ、仕事を休んで来た甲斐がありました。」と喜んでい



る。展望を楽しみながら登り、猫岩を巻いて登ると少し先に富士山の標識がある展望ポイントに着く。ここからは地藏岳の左に富士山が望め、富士山を見ながら休憩を取り衣服調整をする。風も無く穏やかな晴天に恵まれ、上衣を脱いでも汗がにじむ。1600mから上は雪も多くなり、岩の露出も無くアイゼンが効いて歩き易い。傾斜がきつくなると後ろが離れ、途中で待ちながら高度を上げて行く。急坂になれたころ前方に標識が見え、駒ヶ岳分岐のT字路に出る。日



た。

眺望を楽しんだら山頂から分岐まで戻り、「御黒檜大神」が祀られた南峰から南に駒ヶ岳を目指



す。南峰直下で花見ヶ原キャンプ場への道を分け、右に急坂を下るが雪が融けて木の階段が露出しアイゼンでは歩きにくい。

緩やかな下りを進むと大ダルミの鞍部を経て、緩やかに登り返すと小ピークの駒ヶ岳山頂に着く。今日は平日なので我々だけの貸切で、好きな場所に腰をおろしランチタイムにする。お湯を沸かして各自持参したカップ麺に注ぐが、F 島さんがカップ麺を家に忘れたとの事。皆が少しずつ分けてやり、3種類のカップ麺

がミックスした麺は美味しいとご満悦。暖かい日差しと素晴らしい眺望を見ながらのランチは、最高の贅沢で山の神様に感謝しながらゆっくりいただいた。ランチが済んだら記念写真を撮り、南に

尾根を下って下山する。ここからの尾根歩きは雪庇が張り出し、このコースの中でも雪山登山の雰囲気を得られる場所だ。今年は雪が少なく雪庇が小さいが、それでも尾根の東側に張り出した雪庇は雪山の雰囲気を醸し出してくれる。鉄階段の下り口まで行き、鳥居峠への尾根の雪を見ると、南側の斜面で融けて少ない状態だった。尾根を下るのを断念し、鉄階段の夏道を下ることにする。こちらでも雪が少なく所々雪が途切れて歩きにくく、途中でアイゼンを外して下



て行く。駒ヶ岳登山口で道路に出て、右に舗装道路を少し行くとおのこ駐車場に着く。靴を履き替えたらいを済ませ帰路につく。

途中、あいのやまの湯の直売所に寄り、野菜や花を買い予定より早く岩舟支所に帰着した。